

ディボーション質問表



31日(日) 先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

1日(月) ネヘミヤ記 3章

1. 誰がどこを修理しましたか？ それは誰か一人が頑張っていて修繕していますか？
→ キリストの体である教会も、同じように様々な人たちの賜物、ミニストリーによって建て上げられ、誰一人不要な人、重要でない人はいないことを知っていますか？

2日(火) ネヘミヤ記 4章

1. 人の計画を止めようとする人たちはどのような言葉を語りますか(1~3節)？ それは事実ですか？ その言葉に彼らはどう対処しましたか(4~8節)？
→ ときに事実ではない言葉を聞き、信じてしまい、意気消沈していることはないだろうか？
2. 邪魔が入った彼らは、どのような対策をとりましたか(16~23節)？
→ 自分の思い通りにならなくても、最善を尽くしているだろうか？

3日(水) ネヘミヤ記 5章

1. ユダヤ人達の中に貧富の差が表われ始めていました。いわゆる格差社会です。働いても借金がなくならないというワーキングプアの人たちを救済する政策をネヘミヤはとり始めます。今日の日本社会にどう適用できると思いますか？ またあなたは自分の富を慈悲深く使っていますか。自分の収入の一部を誰かの為に使うことについて考えてみましょう。
2. 14節以降のネヘミヤの仕事ぶりから何を学び事ができますか。また18節のネヘミヤにあてられた料理から何を感じますか。ネヘミヤにとって大事な事は何だったと思いますか。

4日(木) ネヘミヤ記 6章

1. エルサレムの復興を着々と進めていくネヘミヤに対する暗殺計画が、周りの国々によって立てられます。彼らの計略を知るネヘミヤの対応から何を学びますか。あなたは自分に対する悪意を聞いた時、どう対処しますか。
2. 10節からはネヘミヤの身近なものにさえ、敵からの買収が波及していた事がわかります。身近な人からの進言だからといって、無批判に受け入れて悪魔のワナにおちいった経験はないでしょうか。霊的戦いの意識を持っていますか。
3. 15節以降のユダの名士達とネヘミヤの違いを考えてみましょう。世に対して変な妥協をしてはいないでしょうか。

5日(金) ネヘミヤ記 7章

1. ネヘミヤは2人の同労者ハナニとハナヌヤにエルサレム統治を任せます。このような権威分与と継続的な精神的サポート体制をあなたは確立していますか。自分の霊的スポンサーと、自分の仕事を分け与える後継者は誰かいますか。今一度確認してみましょう。
2. ゼルバベル達と一緒に戻って来た初期の帰還者のリストが確認されます。祭司職にふさわしい者がいなかった所以他们は最も聖なるものを食べる事はできませんでした。しかし、私たちはどうでしょうか。常に私たちが神にとりなしてくださるイエス様がいることでどんな安心が得られるでしょうか？

6日(土) ネヘミヤ記 8章

1. 律法の書を朗読し、神を礼拝します。この時彼らはなぜ泣いていたのでしょうか(9節)？ また、彼らに対してネヘミヤはどんなアドバイスをおくりましたか？
2. 10節の別訳を読んであなたはどう感じますか。主を喜ぶ事に伴う祝福をあげてみましょう。
3. イスラエル人は仮庵を作り、主を覚えます。このような仮庵に住む事によって彼らは神からどんなメッセージを受け取ったと思いますか。あなたにとってはこのような仮庵の野宿生活はどんな意味を持つでしょうか。